

◇人口減少の現状と今後

◇食品ロスと

「子ども・地域食堂」と「フードバンク」



村上 伸子

問 市民の暮らしにおける食品ロスの現状と対策について伺います。

答 「魚食健康都市」「スローフード都市」である本市の食品ロス削減への取り組みは重要です。食品の使い切りや食べ残し削減への市民の理解や行動を啓発し、市、市民及び事業者が連携して取り組んでいきます。

問 「子ども・地域食堂」と「フードバンク」への

取り組みについて、現在の取り組み内容を伺います。

答 若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶えることを目的に、「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て期」の段階ごとに、婚活イベントの開催、支援やセミナーの開催、子育て世代包括支援センターでの相談支援、補助金の支給など、各ライフ

ステージの課題に対応した25の事業に取り組んでいます。

「子育て期」の段階ごとに、婚活イベントの開催、支援やセミナーの開催、子育て世代包括支援センターでの相談支援、補助金の支給など、各ライフ

◇建築後のイエローゾーンの指定は？

◇大谷鉱山跡地の再観光開発を



高橋 清男

されましたが、大谷鉱山の観光開発を含めた取組を伺います。

答 大谷鉱山跡は、日本遺産の重要な構成要素であり、人々の浪漫をかき立てるもので、往時の栄華と地域発展に寄与してこられた歴史を内外にPRし、後世にもしっかりと伝えていくべきと心得ています。

問 防災集団移転をした浪板一区の土地が、家を建築し住んだ後に「土砂警戒区域」イエローゾーンとのことで市民に不安を与えています。宅地建物取引業法では重要説明事項としており、行政としてそれなりの対応を

する責務があると思えます。

また、南気仙沼地区土地区画整理事業内で住宅が建築できないことの問題はどうなったのか伺います。

答 住宅に関わる復興事業において市民の安全を守るため土砂災害危険箇所を避けて計画をしています。

また、南気仙沼地区土地区画整理事業内で住宅が建築できないことの問題はどうなったのか伺います。

問 子供を産み、育てる世代的本市の暮らしや施策への印象をどの程度把握していますか。

また、南気仙沼地区土地区画整理事業内で住宅が建築できないことの問題はどうなったのか伺います。

問 宮城県・岩手県の五市町の産金にまつわる「みちのくGOLD浪漫黄金の国ジパング」が文化庁の日本遺産に選

ばれましたが、大谷鉱山の観光開発を含めた取組を伺います。

また、南気仙沼地区土地区画整理事業内で住宅が建築できないことの問題はどうなったのか伺います。